

## 平成22年度 日中韓フォーサイト事業 終了時評価資料(進捗状況報告書)

### 1. 概要

<b>研究交流課題名</b>	東アジア陸上生態系炭素動態－気候変動の相互作用解明を目指した研究教育拠点の構築		
<b>日本側拠点機関名</b>	岐阜大学		
<b>コーディネーター 所属・職・氏名</b>	流域圏科学研究センター・教授・村岡裕由		
<b>相手国（地域）側</b>	<b>国名</b>	<b>拠点機関名</b>	<b>コーディネーター所属・職・氏名</b>
	中国	北京大学 (Peking University)	Department of Ecology, College of Urban and Environmental Sciences, Professor, Jingyun Fang
	韓国	高麗大学 (Korea University)	Division of Environmental Science and Ecological Engineering, Professor, Yowhan Son

### 2. 研究交流目標

申請時に計画した目標とその達成度について記入してください。

#### ○申請時の研究交流目標

大気中の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）濃度の上昇が主要因とされる地球規模での気候変動が、生態系と生物多様性、および社会にもたらす影響は深刻化しつつあり、それらの機構解明と今後の適応・影響緩和策の解明および提言は環境科学の喫緊の課題である。特に人口と資源利用の増加に伴う環境の変化が著しいアジア地域において、多様な生態系の在り方とそのCO<sub>2</sub>（炭素）蓄積能力や動態機構と気候変動との関係を解明することが地球規模の環境保全の危急的課題となっている。本事業ではアジアの陸上生態系炭素動態と気候変動の相互作用解明を目指す研究教育拠点を築くことを目的として、日中韓3ヶ国で最も生態学的かつ分野融合的な視点による生態系炭素動態研究教育に実績をもつ研究グループにより研究および若手人材育成の協働を図る。研究知見は学術論文等での発表に限らず、国際的な知見統合の場（IPCC など）へ提供するほか、市民向けシンポジウム等を通じて人間活動と地球環境との関係の理解を求めめるための活動に役立てる。

#### ○目標に対する達成度

- 研究交流目標は十分に達成された。  
 研究交流目標は概ね達成された。  
 研究交流目標はある程度達成された。  
 研究交流目標はほとんど達成されなかった。

#### 【理由】

平成19年8月から平成22年3月までに6回のセミナー（ワークショップ）を開催して、毎回40～100人程度が集まり、研究成果発表および新たな研究・教育計画の議論を実施した。セミナーには各国コーディネーターが持つ国際共同研究教育プロジェクト等に関与する一流研究者も多数参加し、陸上生態系機能解析に関する最先端の知見交流が図られた。若手研究者は研究発表だけでなくセミナー開催にも中心的な役割を果たした。日本と韓国の間では森林生態系を対象とした共同研究が強化され、機関校である岐阜大学と高麗大学は学術交流協定の締結に至った（平成22年1月）。日本と中国の間ではチベット等での草原生態系を対象とした共同研究が強化され、新たな研究プロジェクトの創出を得た。これらの共同研究では韓国や中国からの留学生が中心的な役割を果たした。これまでの交流により、各国がもつ文化的・学問的背景の相互理解が進み、また、若手研究者間での継続的な研究交流が促進され、東アジアでの研究教育拠点の強固な基盤が形成された。

### 3. 研究交流活動の成果

これまでの交流活動を通じての成果を「学術的側面」「若手研究者の養成」及び「日中韓における継続的な研究教育拠点の構築」の観点から記入してください。また、活動成果から発生した波及効果がある場合には記入してください。

#### ○学術的側面

本計画では生態プロセス研究、リモートセンシング、微気象学的観測、生態学的調査データと気候変動シナリオに基づくシミュレーションモデルなどの多様な研究手法を総合的に用いて、東アジア地域に典型的な陸上生態系（森林、草原）の炭素吸収・放出量の算定を行うとともに、それらの生物学的・気象学的機構に関する理解の深化に努めた。分野融合研究の実践は岐阜大学 21 世紀 COE プログラム「衛星生態学創生拠点」（平成 16～20 年度）との連携によってさらに強化された。これらの研究活動の成果として、①現在の森林や草原は炭素の大きな吸収源であるが植生密度や植物種組成の違いにより吸収能力が異なること、②森林の一年あたりの炭素吸収量の年変動は大きいこと、③森林樹木の葉量や光合成能の季節性の年変動が生態系の炭素吸収量を変動させること、④森林や草原の利用および管理強度の違いにより炭素吸収能力に差異が生じ得ること、⑤今後の気候変動は炭素吸収と放出の両過程に複雑な変化をもたらす可能性があるため、気候変動の影響検出および生態系の脆弱性評価のために継続的な研究が必要であること、などが明らかにされた。

#### ○若手研究者の養成

本事業では国内外での研究およびセミナー等の開催を通じた若手研究者（大学院生とポスドク）の研究スキル向上と科学界での国際交流の経験蓄積を最重要課題とした。日－韓による森林生態系の研究、日－中による草原生態系の研究では若手メンバーが現地調査や解析の中心的役割を果たし、それらの多くが常に日中韓のセミナーや学術雑誌の場で発表され続けた。セミナーでは常に約 20～30 件の発表が若手研究者により行われ、英語による口頭発表の機会を極力多くした。また平成 20 年 8 月には岐阜大学の森林研究試験地にて合同の森林調査講習会を行い、運営とマニュアル作成を日本の若手メンバーが担った。これらの活動により、若手研究者は第一線で活躍する研究者グループと対等に研究を遂行するとともに国際会議開催のノウハウを学んだ。事業開始 2 年目にはポスドクと博士課程学生による共同研究が開始され、それにより、気候変動に対する森林生態系の反応の長期・連続観測体制が確立しつつあることは特記に値する。

#### ○日中韓における継続的な研究教育拠点の構築

日中韓各国の研究グループはこれまでに森林や草原生態系の炭素循環に関する長期・連続的観測地（サイト）を有している。特に日本では岐阜大学と産業技術総合研究所の高山サイトおよび筑波大学の菅平サイトが拠点である。両サイトは長期生態学研究ネットワーク JaLTER および CO<sub>2</sub> フラックス観測ネットワーク AsiaFlux のコアサイトであり国際的研究ネットワークとの連携が進んでいる。これらのサイトでの国際共同研究教育活動は、今後の日中韓を中心とした東アジアでの拠点形成の核を成す。日－韓では、平成 22 年 1 月に岐阜大学と高麗大学との間で学術交流協定を締結し、研究教育交流体制の強化を図った。日－中では、チベット草原での共同研究を強化して新たな共同研究プロジェクトを始動させ、研究と若手研究者養成の体制を整備している。

#### ○成果の波及効果

上述の研究成果は国際学術雑誌である Journal of Plant Research（18 編）と Science China（16 編）の特集号としてそれぞれ平成 22 年 7 月までに出版される。また事業初年度に岐阜県高山市で開催した第一回セミナーの様子と本事業計画の意義が中日新聞と岐阜新聞にて報道され、地域社会への情報提供が実現した。日本側コーディネーターは国際長期生態学研究ネットワーク・東アジア太平洋地域委員会（ILTER-EAP）科学委員および生物多様性観測ネットワーク日本委員会（J-BON）委員を務め、本事業の研究成果と取り組みを、生態系研究に関するより大きな国際的活動に繋げる機会を得た。また韓国・高麗大学では中国グループの協力を得て、地球規模での炭素循環研究知見の集約機関（Global Carbon Project）のソウル事務局設置の決定に至った。

#### 4. 研究交流活動の実施状況

(1)これまでの交流活動について、「共同研究」、「セミナー」及び「研究者交流」ごとに、交流人数・交流相手国・概略を記入してください。

##### ○共同研究

派遣・受入交流人数合計 (延べ)	日-中	7人 / 94人日
	日-韓	12人 / 55人日

##### 【概要】

本事業では(Ⅰ)森林・草原・農耕地生態系の炭素循環機構の解明, (Ⅱ)生態系 CO<sub>2</sub> 吸収・放出仮定に関する生理生態学的研究, (Ⅲ)植生バイオマスおよび土壌炭素蓄積データベースに基づく広域炭素蓄積量評価, (Ⅳ)衛星リモートセンシングによる生態系構造・生理生態機能の時空間分布解析, (Ⅴ)生態系-気象結合モデルによる東アジア炭素動態に対する気候変動影響予測, を主要な共同研究テーマとして掲げた。日本では高山サイトと菅平サイトにおける学際的共同研究を推進した。また森林生態系に関する研究は特に日-韓で推進され, 研究知見の相互提供について議論を進めた。多様な森林の炭素吸収能力に関する普遍性と特異性の検出, および研究手法の統一化と改良が図られた。日-中では草原生態系に関する共同研究を強化し, チベットにおける標高傾度に沿った植生構造と炭素吸収能力の地理的変化と生態学的要因の解明を進めた。また各国のグループがモデルシミュレーションにより国土レベルでの生態系分布と炭素吸収量算定, および気候変動シナリオに基づく将来予測に着手した。これらの研究成果はセミナーでの発表と討論, およびメンバー間での定常的な議論により検討され, 今後の総合的な研究による東アジア地域全体での炭素動態-気候変動の相互作用系の解明研究への道筋が明確になった。

##### ○セミナー

	中国	韓国	日本
開催回数	1	2	3
参加人数	59 人	170 人	144 人

##### 【概要】

平成 19 年 8 月から 22 年 3 月の間に, 岐阜(岐阜市, 高山市), 韓国ソウルとジンジュウ市, 中国北京市にて合計 6 回の合同セミナー(ワークショップ)を開催した他, 平成 19 年 5 月には本事業開始に先んじて中国北京での東アジア生態学連合学会にてシンポジウムを開催した。また平成 22 年 4 月には韓国ソウルにてワークショップを開催する。これらのセミナーでは毎回多数の参加者があり, 若手研究者による発表を優先的に口頭形式にするなど, 研究成果発表による知見交換だけでなく若手研究者の英語発表経験の蓄積を目指した。またポスドクおよび博士課程学生がプログラム作成やセミナー会場準備, 司会進行等の務めも果たし, 国際会議の運営について学ぶ機会とした。これらのセミナーを, 時には主催国コーディネーターが持つ国際共同研究プロジェクトのシンポジウムとの共催とすることにより, 各国内および 3 ヶ国外の一流研究者の多数参加が実現した。これにより本事業の若手メンバーは最先端の研究知見を学ぶだけでなく, 一流研究者との討論の機会を得ることができた。平成 20 年 7 月末の岐阜大学でのシンポジウムでは, 市民向けシンポジウムを併催した。我々のこうした取り組みは, 国際的な場に出る機会の少ない若手研究者に対して多様な機会をもたらし, 今後の活躍の場を広げることに寄与したものと考えられる。

##### ○研究者交流

派遣・受入交流人数合計 (延べ)	日-中	3人 / 22人日
	日-韓	15人 / 61人日

##### 【概要】

各国コーディネーターを中心とした 3 ヶ国間での交流により, 本事業を構成する共同研究テーマとデータ解析, 若手研究者の協働体制に関する議論を進めてきた。また日本では研究サブテーマの責任者による会議等を実施した。また韓国メンバーが日本生態学会年次大会に参加して研究発表をするなどの活動も行った。

(2) 本事業における、「日本側拠点機関の実施体制」、「中国・韓国の拠点機関との協力体制」、「日本側拠点機関の事務支援体制」について記入してください。

#### ○日本側拠点機関の実施体制（拠点機関としての役割・国内の協力機関との協力体制等）

当事業「東アジア陸上生態系炭素動態－気候変動の相互作用解明を目指した研究教育拠点の構築」の実施計画は、拠点機関である岐阜大学のみならず、筑波大学、産業技術総合研究所、国立環境研究所、海洋研究開発機構、早稲田大学、名古屋大学、農業環境技術研究所にて研究に従事するシニア研究者および若手研究者（ポスドク、大学院生）がこれまで15年以上にわたって岐阜県高山サイトや長野県菅平サイトにて推進してきた森林生態系炭素循環研究と人材育成活動を強固な地盤として築かれたものである。我々は機関や分野の壁を越えて、研究推進と大学院生やポスドクの研究トレーニングについても協働して取り組んできた実績をもち、それが当事業でも中核を成している。高山サイトはCO<sub>2</sub>フラックス観測ネットワークAsiaFluxの中核拠点であり、また菅平サイトとともに、日本長期生態学研究ネットワークJaLTERのコアサイトでもある。我々は生態系観測の分野融合を推進し、国内外の研究ネットワークにおいて研究知見の蓄積と人材育成において重要な貢献を続けている。

この体制を基盤として、本事業では拠点機関の岐阜大学と上記の協力機関により、共同研究の遂行およびセミナーの開催・運営を実施し、3ヶ国の研究者交流と若手研究者養成の場を作り続けてきた。岐阜大学が主催する「岐阜大学フェア in 高山」（平成20年2月、22年2月）では本事業を含む研究成果および拠点形成活動について市民向けのパネル展示などを行い、情報公開を積極的に行った。

日本側拠点が国際的ネットワークとの橋渡しをすることにより、本事業に参画する韓国と中国の研究者と若手メンバーは多様な研究グループとの交流および研究サイトでの知見修得の機会を得ることができている。日本側拠点は日中韓フォーサイト事業および本拠点の実施計画が目指すアジアでの研究教育拠点の構築を確実に推進している。

#### ○中国・韓国の拠点機関との協力体制（各国の役割分担・ネットワーク構築状況等）

中国拠点機関の北京大学との間では、チベット草原における炭素循環機構の解明、および温暖化が植物の光合成・呼吸・成長特性にもたらす影響の実験的検証などについて長年にわたって共同研究を推進しており、本事業はそれをさらに強化する契機となった。研究成果は着実に輩出されており、その一部は中国からの留学生の博士論文や、ポスドクの研究活動の重要な位置を占めた。またチベット草原は厳しい環境にあるため、現地への移動および滞在、研究活動に関する支援はすべて中国側機関より受けており、共同研究の実施とそれを通じた若手研究者養成の協力体制は強固なものになっている。

韓国拠点機関の高麗大学との間では、本事業の開始以前より森林生態系の炭素循環研究について協力関係を有しており、岐阜大学にてポスドクとして研究に従事していた韓国からの若手研究者が重要な橋渡し役を担った。高麗大学では、岐阜大学等の高山サイト研究グループと同様に、生態学的研究とリモートセンシング観測を融合した生態系機能研究を展開していたため、研究理念とゴールに共通性が高く、本事業開始後1年目（平成20年7月）には両大学の中核部局（高麗大学・環境リモートセンシングGIS研究センター、岐阜大学・流域圏科学研究センター）間での協力協定を結び、また平成22年1月には大学間学術交流協定の締結に至るなど、今後の東アジア陸上生態系の研究教育拠点としての準備が着実に進行している。

中国と韓国との間では、地球規模の炭素循環研究知見の集約機関（Global Carbon Project）のソウル事務局を高麗大学に設置するための準備が進められた。

以上のように、本事業を通じて、拠点機関を中心に国際的な研究教育拠点の構築が強く推進されている。

#### ○日本側拠点機関の事務体制（拠点機関全体としての事務運営・支援体制等）

本事業におけるセミナー開催、研究者派遣や交流のための出張等に関する事務手続き、および諸活動の支援は岐阜大学流域圏科学研究センター事務局が担当し、同大学の国際・研究支援課の国際交流係が報告書等の取りまとめと日本学術振興会との連絡調整を務めている。

## 5. この課題に関連した主な発表論文名・著者名

コーディネーターあるいは参加研究者が実施期間中に既に発表した、この交流の成果となる主な論文等を記載してください。コーディネーター・参加研究者の氏名にはアンダーラインを付してください。また、相手国の参加研究者との共著論文には、文頭の番号に○印を付してください。

### (1) 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文又は著書

・査読がある場合、印刷済み及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く。

1	著者名	<u>Muraoka H. and Koizumi H.</u>									
	題名	Satellite Ecology" for linking ecology, remote sensing and micrometeorology from plot to regional scales for ecosystem structure and function study					掲載誌名	Journal of Plant Research			
	発行所	Springer	巻号	122	頁	3~20	発行年	2009年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
2	著者名	<u>Muraoka H., Saigusa N., Nasahara K.N., Noda H., Yoshino J., Saitoh T.M., Nagai S., Murayama S. and Koizumi H.</u>									
	題名	Effects of seasonal and interannual variation in leaf photosynthesis and canopy leaf area index on gross primary production in a cool-temperate deciduous broadleaf forest in Takayama, Japan.					掲載誌名	Journal of Plant Research			
	発行所	Springer	巻号	印刷中	頁	~	発行年	2010年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
3	著者名	<u>Nagai S., Nasahara K.N., Muraoka H., Akiyama T. and Tsuchida S.</u>									
	題名	Field experiments to test the use of the normalized difference vegetation index for phenology detection.					掲載誌名	Agricultural and Forest Meteorology			
	発行所	Elsevier	巻号	150	頁	152~160	発行年	2010年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
4	著者名	<u>Nagai S., Saigusa N., Muraoka H. and Nasahara K.N.</u>									
	題名	What makes the satellite-based EVI-GPP relationship unclear in a deciduous broad-leaved forest?					掲載誌名	Ecological Research			
	発行所	Springer	巻号	印刷中	頁	~	発行年	2010年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
5	著者名	<u>Dhital D., Muraoka H., Yashiro Y., Shizu Y. and Koizumi H.</u>									
	題名	Measurement of net ecosystem production and ecosystem respiration in a Zoysia japonica grassland, central Japan, by the chamber method.					掲載誌名	Ecological Research			
	発行所	Springer	巻号	印刷中	頁	~	発行年	2010年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
○	著者名	<u>Saitoh T.M., Tamagawa I., Muraoka H., Lee N-Y., Yashiro Y., and Koizumi H.</u>									
	題名	Carbon dioxide exchange in a cool-temperate evergreen coniferous forest over complex topography in Japan during two years with contrasting climates					掲載誌名	Journal of Plant Research			
	発行所	Springer	巻号	印刷中	頁	~	発行年	2010年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
7	著者名	<u>Hirota M., Zhang P., Gu S., Shen H., Kuriyama T., Li Y. and Tang Y</u>									
	題名	Small-scale variation in ecosystem CO <sub>2</sub> flux in an alpine meadow depends on plant biomass and species richness.					掲載誌名	Journal of Plant Research			
	発行所	Springer	巻号	印刷中	頁	~	発行年	2010年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
8	著者名	<u>Hirota M., Zhang P., Gu S., Du M., Shimono A., Shen H., Li Y. and Tang Y.</u>									
	題名	Altitudinal variation of ecosystem CO <sub>2</sub> fluxes in an alpine grassland from 3600 to 4200 m.					掲載誌名	Journal of Plant Ecology			
	発行所	Oxford Journals	巻号	2	頁	197~205	発行年	2009年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
9	著者名	<u>Zhang P., Hirota M., Shen H., Yamamoto A., Mariko S. and Tang Y</u>									
	題名	Characterization of CO <sub>2</sub> flux in three Kobresia meadows differing in dominant species.					掲載誌名	Journal of Plant Ecology			
	発行所	Oxford Journals	巻号	2	頁	187~196	発行年	2009年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
10	著者名	<u>Dhital D., Yashiro Y., Ohtsuka T., Noda H., Shizu Y. and Koizumi H.</u>									
	題名	Carbon dynamics and budget in a Zoysia japonica grassland, central Japan.					掲載誌名	Journal of Plant Research			
	発行所	Springer	巻号	印刷中	頁	~	発行年	2010年	査読	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	

1 1	著者名	Hirose D., Shirouzu T., <u>Hirota M.</u> , <u>Ohtsuka T.</u> , Senga Y., Du M., Shimono A. and Zhang X.							
	題名	Species richness and species composition of fungal communities associated with cellulose decomposition at different altitudes on the Tibetan Plateau.				掲載誌名	Journal of Plant Ecology		
	発行所	Oxford Journals	巻号	2	頁	217~224	発行年	2010年	査読
1 2	著者名	<u>Ito A.</u>							
	題名	Changing ecophysiological processes and carbon budget in East Asian ecosystems under near-future changes in climate: Implications for long-term monitoring from a process-based model.				掲載誌名	Journal of Plant Research		
	発行所	Springer	巻号	印刷中	頁	~	発行年	2010年	査読
○	著者名	<u>Yashiro Y.</u> , <u>Lee N.M.</u> , <u>Ohtsuka T.</u> , <u>Shizu Y.</u> , <u>Saitoh T.M.</u> and <u>Koizumi H.</u>							
	題名	Biometric based estimation of net ecosystem production (NEP) in a mature Japanese cedar ( <i>Cryptomeria japonica</i> ) plantation beneath a flux tower				掲載誌名	Journal of Plant Research		
	発行所	Springer	巻号	印刷中	頁	~	発行年	2009年	査読
1 4	著者名	<u>Ohtsuka T.</u> , Saigusa N. and <u>Koizumi H.</u>							
	題名	On linking multiyear biometric measurements of tree growth with eddy covariance-based net ecosystem production				掲載誌名	Agricultural and Forest Meteorology		
	発行所	Blackwell Publishing Ltd	巻号	15	頁	1015~1024	発行年	2009年	査読
1 5	著者名	<u>Motohka T.</u> , <u>Nasahara K. N.</u> , Miyata A., Mano M. and Tsuchida S.							
	題名	Evaluation of optical satellite remote sensing for rice paddy phenology in monsoon Asia using a continuous in situ dataset				掲載誌名	International Journal of Remote Sensing		
	発行所	Taylor & Francis	巻号	30	頁	4343~4357	発行年	2009年	査読
1 6	著者名	<u>Nasahara K.N.</u> , <u>Muraoka H.</u> , <u>Nagai S.</u> and Mikami H.							
	題名	Vertical integration of leaf area index in a Japanese deciduous broad-leaved forest.				掲載誌名	Agricultural and Forest Meteorology		
	発行所	Elsevier	巻号	148	頁	1136~1146	発行年	2008年	査読

## (2) 国際会議における発表

- ・著者(参加研究者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること)、題名、発表した学会名、開催場所、論文等の番号、月・年を記載すること。発表者に○印を付すこと。
- ・口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること

1	著者名	<u>OMuraoka H.</u>							
	題名	Interdisciplinary research for carbon cycling in a forest ecosystem and scaling to a mountainous landscape in Takayama, central Japan. -Scaling from plot to landscape by "Satellite Ecology"-				<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	Asia-Pacific Workshop on Carbon Cycle Observations		場所	国立環境研究所 (つくば)	番号	基調講演	3月 2008年	
2	著者名	<u>OMuraoka H.</u>							
	題名	A3 Foresight Program: Quantifying and predicting terrestrial carbon sinks in East Asia: toward a network of climate change research				<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	Asia-Pacific Workshop on Carbon Cycle Observations		場所	国立環境研究所	番号	招待講演	3月 2008年	
3	著者名	<u>OMuraoka H.</u>							
	題名	Long-term and interdisciplinary studies on forest carbon cycle at Takayama site -scaling from plot to landscape by Satellite Ecology-				<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	International symposium for the 15th anniversary of the World Day to Combat Desertification 'Combating desertification and adaptation strategies for climate change in Asian countries.		場所	高麗大学 (韓国)	番号	招待講演	6月 2009年	

4	著者名	<u>OMuraoka H.</u>				
	題名	Linking ecology, micrometeorology and remote sensing for studying forest ecosystem functions.		<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	1 <sup>st</sup> workshop of Asia-Pacific Biodiversity Observation Network	場所	Tokyo, Japan	番号	7月 2009年
5	著者名	<u>OMuraoka H.</u> , Saigusa N., Shibata H., Hiura T., Nasahara K. and Nakaoka M.				
	題名	Interdisciplinary research on terrestrial ecosystem functions by networking networks.		<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	10 <sup>th</sup> International Congress of Ecology	場所	ブリズベン(オーストラリア)	番号	S31 8月 2009年
6	著者名	<u>OMuraoka H.</u> , <u>Nasahara K.N.</u> , <u>Saitoh T.M.</u> , <u>Yoshino J.</u> , <u>Nagai S.</u> , <u>Ishihara M.</u> , <u>Noda H.</u> , <u>Lee M.</u> , <u>Kojima T.</u> , <u>Tamagawa J.</u> , <u>Akiyama T.</u> , <u>Yasuda T.</u> and <u>Koizumi H.</u>				
	題名	"Satellite Ecology" an interdisciplinary study for ecosystem functions in a mountainous landscape in Japan		<input type="checkbox"/> 口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	10 <sup>th</sup> International Congress of Ecology	場所	ブリズベン(オーストラリア)	番号	MON-65 8月 2009年
7	著者名	<u>ONoda H.</u> and <u>Muraoka H.</u>				
	題名	Photosynthesis of tree saplings in a forest understory dominated by dwarf bamboo		<input type="checkbox"/> 口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	10 <sup>th</sup> International Congress of Ecology	場所	ブリズベン(オーストラリア)	番号	MON-68 8月 2009年
8	著者名	<u>ODhital D.</u> , <u>Yashiro Y.</u> and <u>Koizumi H.</u>				
	題名	Dynamics of carbon cycle and budget in a cool-temperate <i>Zoysia japonica</i> grassland.		<input type="checkbox"/> 口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	10 <sup>th</sup> International Congress of Ecology	場所	ブリズベン(オーストラリア)	番号	MON-20 8月 2009年
9	著者名	<u>OMuraoka H.</u> , Saigusa N., <u>Nasahara K.N.</u> , <u>Noda H.</u> , <u>Yoshino J.</u> , <u>Saitoh T.M.</u> , <u>Nagai S.</u> , <u>Murayama S.</u> and <u>Koizumi H.</u>				
	題名	Effects of seasonal and interannual variation in leaf photosynthesis and canopy leaf area index on canopy photosynthesis in a cool-temperate deciduous broadleaf forest in Takayama, Japan.		<input type="checkbox"/> 口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	AsiaFlux workshop 2009	場所	北海道大学	番号	P132 10月 2009年
10	著者名	<u>ONoda H.</u> , <u>Muraoka H.</u> , <u>Nasahara K.N.</u> and Saigusa N.				
	題名	Phenology of leaf photosynthetic properties in a cool-temperate deciduous broadleaf forest in Takayama, Japan		<input type="checkbox"/> 口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	AsiaFlux workshop 2009	場所	北海道大学	番号	P131 10月 2009年
11	著者名	<u>ONagai S.</u> , <u>Nasahara K.N.</u> , <u>Muraoka H.</u> , <u>Akiyama T.</u> and Tsuchida S.				
	題名	Field test to the use of vegetation indices for phenology detection		<input type="checkbox"/> 口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	American Geophysical Union Fall Meeting	場所	サンフランシスコ(アメリカ合衆国)	番号	B31B-0350 12月 2009年
12	著者名	<u>OMotohka T.</u> and <u>Nasahara K. N.</u>				
	題名	A simple and robust method for remote sensing of phenology using green and red reflectance: RVI-method		<input type="checkbox"/> 口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	American Geophysical Union Fall Meeting	場所	サンフランシスコ(アメリカ合衆国)	番号	B43C-0382 12月 2009年
下記は日中韓フォーサイト事業（共催を含む）によるセミナー等での発表論文						
13	著者名	<u>OKondo H.</u> , <u>Murayama S.</u> , Saigusa N. and Yamamoto S.				
	題名	Long-term CO2 flux measurement at a site on the complex terrain; Takayama		<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P1 11月 2007年

14	著者名	<u>OSaitoh T.M., Tamagawa I. and Muraoka H.</u>					
	題名	Simulation analysis of carbon and heat budget in a cool-temperate evergreen coniferous forest			<input type="checkbox"/> 頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P2	11月 2007年
15	著者名	<u>OMuraoka H., Shizu Y., Dhital D., Nishiwaki A., Yashiro Y., Lee MS, Nagai S., Noda H., Kondo M., Yoshino J., Adachi M., Ohtsuka T., Nishida K. and Koizumi H.</u>					
	題名	Ecological process of carbon budgets in forest and grassland ecosystems in Takayama site			<input type="checkbox"/> 頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P3	11月 2007年
16	著者名	<u>ONagai S., Nishida K. and Muraoka H.</u>					
	題名	Evaluation of the relationship between the seasonal patterns in cloud cover and that in satellite-based NDVI in a cool temperate deciduous broad-leaved forest			<input type="checkbox"/> 頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P4	11月 2007年
17	著者名	<u>ONishida K., Motohka T., Muraoka H. and Nagai S.</u>					
	題名	Multi-layer modelling of seasonality of canopy spectrum and canopy physiology of the deciduous broadleaf forest in Takayama			<input type="checkbox"/> 頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P18	11月 2007年
18	著者名	<u>OYoshino J., Muraoka H., Nagai S., Ishihara M., Saitoh T.M., Kojima T., Lee MS, Noda H., Nakata J., Tamagawa I., Akiyama T., Koizumi H. and Yasuda T.</u>					
	題名	Regional scale modelling for ecosystem function: coupling mesoscale meteorological model and vegetation canopy model with RS-derived landscape information			<input type="checkbox"/> 頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P19	11月 2007年
19	著者名	<u>OItto A. and Inatomi M.</u>					
	題名	Modeling of atmosphere-ecosystem exchange of CO <sub>2</sub> , CH <sub>4</sub> , and N <sub>2</sub> O			<input type="checkbox"/> 頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P20	11月 2007年
20	著者名	<u>OAkiyama T., Ishihara M. and Kojima T.</u>					
	題名	Spatio-temporal analysis of terrestrial ecosystems in Eastern Asia using satellite image			<input type="checkbox"/> 頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P21-2 2	11月 2007年
21	著者名	<u>OKojima T., Ishihara M., Wahid Din Ara and Akiyama T.</u>					
	題名	Issues of spatio-temporal resolution of satellite images for basin scale ecohydrology			<input type="checkbox"/> 頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P23	11月 2007年
22	著者名	<u>OKishimoto A., Yonemura S. and Yokozawa M.</u>					
	題名	Comparison of two heating systems for studying global warming effects on soil carbon dynamics in agroecosystems			<input type="checkbox"/> 頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号	P25	11月 2007年



23	著者名	OShen H. and Tang Y.				
	題名	Exploring eco-physiological characteristics of an indicator candidate species for global warming			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号 P26	11月 2007年
24	著者名	OOhtsuka T., Saigusa N. and Koizumi H.				
	題名	On linking multi-year biometric measurements of tree growth with eddy covariance based net ecosystem production (NEP)			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program First Joint Seminar: For the joint research in East Asia: sharing knowledge for ecosystem carbon cycling studies	場所	岐阜県高山市	番号 P30	11月 2007年
25	著者名	OMuraoka H., Saitoh T.M., Yoshino J., Nagai S., Ishihara M., Nasahara K.N., Saigusa N., Murayama S., Noda H., Lee M.S., Kojima T., Tamagawa I., Akiyama T., Yasuda T. and Koizumi H.				
	題名	Scaling photosynthesis from leaf to canopy and landscape levels in a cool-temperate basin ecosystem in central Japan			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号 OS III-4	2月 2008年
26	著者名	OKondo H., Murayama S., Saigusa N. and Iizuka S.				
	題名	Scaling up/down of CO2 transportation in the atmosphere with numerical analysis			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号 OS III-5	2月 2008年
27	著者名	OMurayama S., Kondo H., Saigusa N., Yamamoto S., Takamura C., Morimoto S. and Usami T.				
	題名	Temporal variations of atmospheric CO2 concentration and its carbon and oxygen isotopic ratios at Takayama site on diurnal to inter-annual			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号 OS I-5	2月 2008年
28	著者名	ONoda H. and Muraoka H.				
	題名	Effects of architecture and single-leaf level photosynthesis for the carbon gain of tree seedlings			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号 PS-04	2月 2008年
29	著者名	OZhang P., Tang Y., Hirota M. and Mariko S.				
	題名	Partitioning sources of ecosystem respiration on the Qinghai-Tibetan Plateau			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号 PS-09	2月 2008年
30	著者名	OMotohka T. and Nasahara K.N.				
	題名	Remote sensing of leaf development types			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号 OS III-1	2月 2008年
31	著者名	OKoyanagi T., Motohka T., Nasahara K.N. and Maita H.				
	題名	Estimation of vegetation changes in East Asia with satellite remote sensing			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号 PS-24	2月 2008年

32	著者名	ONagai S., Ishihara M., Nasahara K.N. and Muraoka H.				
	題名	Detecting start date of bud-burst and end date of leaf-falling by remote-sensing in a cool-temperate deciduous broad-leaved forest		□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号	OS III-3 2月 2008年
33	著者名	OIshihara M., Nagai S., Nasahara K.N. and Akiyama T.				
	題名	A phenology monitoring method using digital images of the deciduous broad-leaved forest in Takayama		□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号	PS-19 2月 2008年
34	著者名	OHirota M., Zhang P., Gu S., Shen H. and Tang Y.				
	題名	Spatial variation of CO <sub>2</sub> fluxes the alpine meadow on the Qinghai-Tibetan Plateau		□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2008 Seoul Workshop Upscaling from plot based carbon data to regional scale: current status and perspectives	場所	高麗大学 (韓国)	番号	OS I-1 2月 2008年
35	著者名	OAkiyama T., Kojima T. and Ishihara M.				
	題名	Remote sensing in "Satellite Ecology", the achievements and future perspectives		□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P7-10 7月-8月 2008年
36	著者名	ONagai S., Nasahara K. N., Muraoka H., Akiyama T. and Tsuchida S.				
	題名	Criterion of NDVI for spring leaf expansion and autumn defoliation in a cool-temperate deciduous broad-leaved forest		□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P15-18 7月-8月 2008年
37	著者名	OIshihara M., Nagai S., Nasahara K. N. and Akiyama T.				
	題名	Observation of annual phenology pattern using digital images in a deciduous broad-leaved forest		□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P19-22 7月-8月 2008年
38	著者名	OSaitoh T. M., Tamaqawa I., Lee M-S., Yoshino J., Muraoka H. and Koizumi H.				
	題名	Flux measurements, analysis and modeling at TKC (Takayama evergreen coniferous forest) site: A contribution to SATECO		□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P23-26 7月-8月 2008年
39	著者名	OMurayama S., Kondo H., Saigusa N., Wada A., Ishijima K., Matsueda H. and Sawa Y.				
	題名	Examination of CO <sub>2</sub> transport processes over complex terrain at Takayama site using atmospheric <sup>222</sup> Rn measurement		□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P38-41 7月-8月 2008年
40	著者名	OKondo H., Murayama S., Saigusa N. and Iizuka S.				
	題名	Transportation of CO <sub>2</sub> on complex terrain suggested by microscale numerical simulation		□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating	場所	岐阜大学	番号	P42-43 7月-8月 2008年

		and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" –toward the interdisciplinary understanding and networking-						
4 1	著者名	OHirota M.						
	題名	Carbon Cycle research focused on succession in Sugadaira Montane Research Center, University of Tsukuba			<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" –toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P57-6 0	7月-8月 2008 年	
4 2	著者名	ONasahara K. N. and Muraoka H.						
	題名	Leaf-to-canopy upscaling of optical signals and physiology of forest canopy			<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" –toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P65-6 8	7月-8月 2008 年	
4 3	著者名	OYoshino J., Muraoka H., Nagai S., Ishihara M., Saito T. M., Kojima T., Lee M-S., Noda H., Nakata J., Tamagawa I., Akiyama T., Koizumi H. and Yasuda T.						
	題名	SATECO model: coupling mesoscale meteorological and ecosystem models with RS-derived landscape information			<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" –toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P81-8 4	7月-8月 2008 年	
4 4	著者名	OOhtsuka T., Lee M-S., Yashiro Y., Negishi M. and Koizumi H.						
	題名	Net primary production and carbon allocation patterns in red pine, Japanese cedar, and broadleaved forests beneath flux towers			<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" –toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P61-6 4	7月-8月 2008 年	
4 5	著者名	OTanaka S., Ishihara M., Goto S., Maki M., Akiyama T., Muramoto Y. and Yoshida K.						
	題名	Estimation of leaf chlorophyll concentration in winter wheat at heading to anthesis using ALOS/AVNIR-2			口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" –toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P06	7月-8月 2008 年	
4 6	著者名	OMotohka T., Koyanagi T., and Nasahara K. N.						
	題名	Monitoring vegetation phenology in Japan using satellite remote sensing			口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" –toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P10	7月-8月 2008 年	
4 7	著者名	OIshihara M., W.D. Ara and Akiyama T.						
	題名	Characteristics of seasonal variation pattern of MODIS/NDVI by difference of vegetation type			口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" –toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P12	7月-8月 2008 年	
4 8	著者名	OKojima T., Nagai S., Ishihara M. and Akiyama T.						
	題名	Vegetation type classification with MODIS phenology data			口頭・ <input type="checkbox"/> ポスター	査読	有・ <input type="checkbox"/> 無	
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" –toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P13	7月-8月 2008 年	

4 9	著者名	OMuraoka H., Nasahara K.N., Noda H., Hirota H. and Koizumi H.					
	題名	Seasonal and interannual variation in leaf properties in a cool-temperate deciduous broadleaf forest in Takayama site			口頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P17	7月-8月 2008 年
5 0	著者名	OMuraoka H., Yoshino J., Saitoh T.M., Saigusa N., Murayama S., Nagai S., Noda H. and Koizumi H.					
	題名	Effects of seasonal and interannual variation in leaf photosynthetic capacity on canopy photosynthesis in a cool-temperate deciduous broadleaf forest			口頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P18	7月-8月 2008 年
5 1	著者名	ONoda H. and Muraoka H.					
	題名	Whole-plant carbon gain of tree seedlings in deciduous forest floor dominated by bamboo-grass			口頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P19	7月-8月 2008 年
5 2	著者名	OYagi S., Hirota M. and Ohtsuka T.					
	題名	Carbon pools in cool temperate pine and mixed forests in Japan			口頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P24	7月-8月 2008 年
5 3	著者名	O Lee M-S., Son Y. and Koizumi H.					
	題名	Assessment of carbon balance by ecological process-based model in young and mature stands of Japanese cedar ( <i>Cryptomeria japonica</i> D. Don) planted forests, central Japan			口頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P32	7月-8月 2008 年
5 4	著者名	OYamamoto A., Hirota M. and Mariko S.					
	題名	Temporal variation in CO <sub>2</sub> and CH <sub>4</sub> fluxes in managed <i>Miscanthus Sinensis</i> grassland			口頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P35	7月-8月 2008 年
5 5	著者名	ODhital D., Muraoka H., Yashiro Y., Shizu Y. and Koizumi H.					
	題名	Net ecosystem production during a peak growing period in a <i>Zoysia japonica</i> grassland, central Japan, using NEP chamber method			口頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P36	7月-8月 2008 年
5 6	著者名	OMatsueda H., Sawa Y., Murayama S., Kondo H. and Wada A.					
	題名	Trace gases variations in the surface boundary layer observed by MRI meteorological tower in Tsukuba, Japan			口頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P41	7月-8月 2008 年

57	著者名	OTamagawa I., Saitoh T. M., Muraoka H. and Koizumi H.								
	題名	Some basic issues at Takayama evergreen coniferous forest site -Interception and power spectrum of turbulence-			口頭・	ポスター	査読	有・	無	
	学会名	2 <sup>nd</sup> International Symposium of 21 <sup>st</sup> century COE Program "Satellite Ecology" "Integrating and scaling processes for plot to landscape ecosystem study" -toward the interdisciplinary understanding and networking-	場所	岐阜大学	番号	P44	7月-8月 2008 年			
58	著者名	OAkiyama T.								
	題名	Thinking back on 30 years of my research with Remote Sensing			口頭・	ポスター	査読	有・	無	
	学会名	A3 Foresight Program Gifu Seminar "Ecosystem processes in East Asia" - local reports for future perspectives -	場所	岐阜大学	番号	P7	2月 2009 年			
59	著者名	OYashiro Y.								
	題名	Net ecosystem production (NEP) in Japanese cedar plantation beneath a flux tower			口頭・	ポスター	査読	有・	無	
	学会名	A3 Foresight Program Gifu Seminar "Ecosystem processes in East Asia" - local reports for future perspectives -	場所	岐阜大学	番号	P8	2月 2009 年			
60	著者名	OAbdulla H.M., Ishihara M. and Akiyama T.								
	題名	Estimating biomass and LAI of agro-ecosystem from spectral data			口頭・	ポスター	査読	有・	無	
	学会名	A3 Foresight Program Gifu Seminar "Ecosystem processes in East Asia" - local reports for future perspectives -	場所	岐阜大学	番号	P9	2月 2009 年			
61	著者名	OInoue T. and Koizumi H.								
	題名	Temporal and spatial variations in soil respiration on a slope of a cool-temperate pasture			口頭・	ポスター	査読	有・	無	
	学会名	A3 Foresight Program Gifu Seminar "Ecosystem processes in East Asia" - local reports for future perspectives -	場所	岐阜大学	番号	P11	2月 2009 年			
62	著者名	OSekine Y., Yashiro Y. and Koizumi H.								
	題名	Effects of experimental warming on the growth of plants and CO2 flux in a cool-temperate grassland			口頭・	ポスター	査読	有・	無	
	学会名	A3 Foresight Program Gifu Seminar "Ecosystem processes in East Asia" - local reports for future perspectives -	場所	岐阜大学	番号	P12	2月 2009 年			
63	著者名	OTomotsune M., Baba S., Yoshitake S., Sakamaki Y. and Koizumi H.								
	題名	Relationship between carbon or nitrogen stock and community structure in a cool-temperate deciduous forest located on Mt. Asama			口頭・	ポスター	査読	有・	無	
	学会名	A3 Foresight Program Gifu Seminar "Ecosystem processes in East Asia" - local reports for future perspectives -	場所	岐阜大学	番号	P13	2月 2009 年			
64	著者名	OKawai H., Saijoh Y. and Akiyama T.								
	題名	Analysis of bamboo expansion comparing the growth of above and belowground parts			口頭・	ポスター	査読	有・	無	
	学会名	A3 Foresight Program Gifu Seminar "Ecosystem processes in East Asia" - local reports for future perspectives -	場所	岐阜大学	番号	P15	2月 2009 年			
65	著者名	OYoshitake S., Uchida M., Koizumi H., Kanda H. and Nakatsubo T.								
	題名	Photosynthetic characteristics of biological soil crusts and effect of temperature increase in a High Arctic glacier foreland in Ny-Ålesund, Svalbard			口頭・	ポスター	査読	有・	無	
	学会名	A3 Foresight Program Gifu Seminar "Ecosystem processes in East Asia" - local reports for future perspectives -	場所	岐阜大学	番号	P14	2月 2009 年			
66	著者名	Yoshino J., Yamaoka M. and OYasuda T.								
66	題名	Amounts of carbon absorption due to the forest in the Daihachiga river basin calculated with the SATECO model and the accumulation change method			口頭・	ポスター	査読	有・	無	

	学会名	A3 Foresight Program 2009 Jinju Workshop Ecological processes for carbon cycling: Temporal and spatial variation	場所	晋州 (ジンジュウ) 国立大学 (韓国)	番号	PS-28	4月 2009年
67	著者名	O <u>Noda H.</u> and <u>Muraoka H.</u>					
	題名	Effect of seasonal and interannual variation in leaf photosynthesis on GPP of a cool-temperate deciduous broadleaf forest in Takayama, Japan.			□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2009 Jinju Workshop Ecological processes for carbon cycling: Temporal and spatial variation	場所	晋州 (ジンジュウ) 国立大学 (韓国)	番号	OS I-1	4月 2009年
68	著者名	O <u>Shizu Y.</u> and <u>Ohtsuka T.</u>					
	題名	Carbon dynamics in relation to stand structure following clear-cutting of a deciduous forest			□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2009 Jinju Workshop Ecological processes for carbon cycling: Temporal and spatial variation	場所	晋州 (ジンジュウ) 国立大学 (韓国)	番号	OSI-8	4月 2009年
69	著者名	O <u>Dhital D.</u> , <u>Yashiro Y.</u> , <u>Ohtsuka T.</u> and <u>Koizumi H.</u>					
	題名	Mechanisms of carbon cycle in a cool-temperate grazing grassland			□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2009 Jinju Workshop Ecological processes for carbon cycling: Temporal and spatial variation	場所	晋州 (ジンジュウ) 国立大学 (韓国)	番号	OS II-1	4月 2009年
70	著者名	O <u>Yashiro Y.</u> , <u>Shizu Y.</u> , <u>Hirota M.</u> , <u>Shimono A.</u> and <u>Ohtsuka T.</u>					
	題名	Net CO2 exchange of an alpine ecosystem along altitudinal gradient on the Qinghai-Tibetan Plateau			□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2009 Jinju Workshop Ecological processes for carbon cycling: Temporal and spatial variation	場所	晋州 (ジンジュウ) 国立大学 (韓国)	番号	OS II-2	4月 2009年
71	著者名	O <u>Saitoh T.M.</u> , <u>Tamagawa I.</u> , <u>Lee N.M.</u> , <u>Muraoka H.</u> and <u>Koizumi H.</u>					
	題名	Carbon dioxide exchange in a cool temperate evergreen coniferous forest in Japan during two climatically contrasting years			□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2009 Jinju Workshop Ecological processes for carbon cycling: Temporal and spatial variation	場所	晋州 (ジンジュウ) 国立大学 (韓国)	番号	OS I-6	4月 2009年
72	著者名	O <u>Murayama S.</u> , <u>Kondo H.</u> , <u>Saigusa N.</u> , <u>Wada A.</u> , <u>Ishijima K.</u> , <u>Matsueda H.</u> and <u>Sawa Y.</u>					
	題名	Transportation of CO2 over complex terrain at Takayama site estimated from atmospheric 222Rn measurement			□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2009 Jinju Workshop Ecological processes for carbon cycling: Temporal and spatial variation	場所	晋州 (ジンジュウ) 国立大学 (韓国)	番号	PS-12	4月 2009年
73	著者名	O <u>Motohka T.</u> and <u>Nasahara K.N.</u>					
	題名	Recent progress of Phenological Eyes Network (PEN)			□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2009 Jinju Workshop Ecological processes for carbon cycling: Temporal and spatial variation	場所	晋州 (ジンジュウ) 国立大学 (韓国)	番号	OS II-7	4月 2009年
74	著者名	O <u>Yoshino J.</u> , <u>Takeichi S.</u> , <u>Yasuda T.</u> , <u>Muraoka H.</u> , <u>Nagai S.</u> , <u>Ishihara M.</u> , <u>Saitoh T.M.</u> , <u>Kojima T.</u> and <u>Tamagawa I.</u>					
	題名	Validation and error analysis of SATECO model-derived land surface fluxes with in situ observations			□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2009 Jinju Workshop Ecological processes for carbon cycling: Temporal and spatial variation	場所	晋州 (ジンジュウ) 国立大学 (韓国)	番号	OS II-8	4月 2009年
75	著者名	O <u>Ito A.</u> and <u>Inatomi M.</u>					
	題名	Estimation on greenhouse gas budget of Asian terrestrial ecosystems using a process-based model.			□頭・ポスター	査読	有・無
	学会名	A3 Foresight Program "Patterns and processes of land carbon cycles in East Asia"	場所	北京大学 (中国)	番号	IL2	11月 2009年

76	著者名	OMuraoka H.				
	題名	Some networking activities toward the integrated ecosystem observations	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program "Patterns and processes of land carbon cycles in East Asia"	番号	北京大学 (中国)	番号	OP2 11月 2009年
77	著者名	OShen H., Tang Y., Klein J.A., and Zhao X.				
	題名	Leaf photosynthesis and simulated carbon budget of <i>Gentiana straminea</i> from a decade-long warming experiment.	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program "Patterns and processes of land carbon cycles in East Asia"	番号	北京大学 (中国)	番号	OP8 11月 2009年
78	著者名	ONagai S., Saitoh T.M., Ishihara M., Muraoka H. and Nasahara K.N.				
	題名	Field test of the relationship between enhanced vegetation index and gross primary production in an evergreen coniferous forest.	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program "Patterns and processes of land carbon cycles in East Asia"	番号	北京大学 (中国)	番号	OP23 11月 2009年
79	著者名	ONoda H. and Muraoka H.				
	題名	Seasonal and interannual variations in leaf photosynthesis and canopy GPP in a cool-temperate deciduous broadleaf forest in Takayama, Japan	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program "Patterns and processes of land carbon cycles in East Asia"	番号	北京大学 (中国)	番号	OP26 11月 2009年
80	著者名	OHirota M., Zhang P, Gu S., Li Y., Du M., Shimono A., Shen H. and Tang Y.				
	題名	Altitudinal variation of ecosystem CO2 fluxes in an alpine grassland from 3600 to 4200m	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program "Patterns and processes of land carbon cycles in East Asia"	番号	北京大学 (中国)	番号	P1 11月 2009年
81	著者名	Yoshino J., Takeichi S. and OYasuda T.				
	題名	Disparity due to methods calculating carbon storage in forests and its cause	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program "Patterns and processes of land carbon cycles in East Asia"	番号	北京大学 (中国)	番号	P8 11月 2009年
82	著者名	OOhtsuka T., Shizu Y., Nishiwaki A., Yashiro Y. and Koizumi H.				
	題名	Carbon cycling and net ecosystem production in an early stage of secondary succession in an abandoned coppice forest	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program "Patterns and processes of land carbon cycles in East Asia"	番号	北京大学 (中国)	番号	P10 11月 2009年
83	著者名	OShizu Y., Yashiro Y. and Ohtsuka T.				
	題名	Soil respiration during the early stage in a conifer plantation and natural broad-leaved forest, central Japan	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program "Patterns and processes of land carbon cycles in East Asia"	番号	北京大学 (中国)	番号	P13 11月 2009年
84	著者名	OMuraoka H.				
	題名	Looking at the footprints to go forward -toward a network of interdisciplinary ecosystem science in East Asia	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program 2010 Seoul Workshop "Terrestrial carbon sinks in East Asia"	場所	高麗大学 (韓国)	番号	4月 2010年
85	著者名	OIto A.				
	題名	Spatial and temporal patterns of soil respiration over the Japanese Archipelago: a model intercomparison study	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program 2010 Seoul Workshop "Terrestrial carbon sinks in East Asia"	場所	高麗大学 (韓国)	番号	4月 2010年
86	著者名	OSuzuki R (平成22年度新規参画)				
	題名	The significance of coupling the satellite data and models for biogeoscience studies	<input type="checkbox"/> 口頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無
	学会名	A3 Foresight Program 2010 Seoul Workshop "Terrestrial carbon sinks in East Asia"	場所	高麗大学 (韓国)	番号	4月 2010年

87	著者名	ONagai S.				
	題名	Ecological examination of phenology observation by using a digital camera in a deciduous broad-leaved forest			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2010 Seoul Workshop "Terrestrial carbon sinks in East Asia"	場所	高麗大学 (韓国)	番号	4月 2010年
88	著者名	OSaitoh T.M.				
	題名	Storage term effects on evaluating ecosystem functions in carbon exchange using eddy-covariance measurement over a sloping forest site			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2010 Seoul Workshop "Terrestrial carbon sinks in East Asia"	場所	高麗大学 (韓国)	番号	4月 2010年
89	著者名	OHashimoto S. (平成22年度新規参画)				
	題名	Estimation of snow melt timing in high mountains in Japan by using satellite remote sensing			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2010 Seoul Workshop "Terrestrial carbon sinks in East Asia"	場所	高麗大学 (韓国)	番号	4月 2010年
90	著者名	OSekine, Yuya (平成22年度新規参画)				
	題名	Effects of experimental warming on CO2 flux in a cool-temperate grassland, Takayama, Japan			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2010 Seoul Workshop "Terrestrial carbon sinks in East Asia"	場所	高麗大学 (韓国)	番号	4月 2010年
91	著者名	OInoue T. (平成22年度新規参画)				
	題名	Interannual and seasonal variations of soil respiration in a Zoysia japonica grassland, central Japan			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2010 Seoul Workshop "Terrestrial carbon sinks in East Asia"	場所	高麗大学 (韓国)	番号	4月 2010年
92	著者名	OYoshino J.				
	題名	Current status of SATECO Model development and applications			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	A3 Foresight Program 2010 Seoul Workshop "Terrestrial carbon sinks in East Asia"	場所	高麗大学 (韓国)	番号	4月 2010年

### (3) 国内学会・シンポジウム等における発表

・(2)と同様に記載すること

1	著者名	O村岡裕由				
	題名	森林生態系の構造と機能の研究ネットワーク：高山サイトを拠点とした展開			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	第55回日本生態学会大会	場所	福岡国際会議場	番号 U05	3月 2008年
2	著者名	O村岡裕由・吉野純・齋藤琢・永井信・石原光則・李美善・児島利治・野田響・中田淳子・秋山侃・玉川一郎・安田孝志・小泉博				
	題名	山岳地域生態系の構造・機能の時空間分布解析			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	第55回日本生態学会大会	場所	福岡国際会議場	番号 P2-261	3月 2008年
3	著者名	O齋藤琢・玉川一郎・村岡裕由・吉野純・小泉博				
	題名	流域圏の生態系機能評価を目指した冷温帯常緑針葉樹林におけるモデルシミュレーション			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	第55回日本生態学会大会	場所	福岡国際会議場	番号 P2-262	3月 2008年
4	著者名	O野田響・村岡裕由				
	題名	個体レベルの物質生産に対する受光体制と個葉光合成特性の効果			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	第55回日本生態学会大会	場所	福岡国際会議場	番号 P3-032	3月 2008年
5	著者名	O玉川一郎・今尾健次郎・児島利治・齋藤琢・村岡裕由				
	題名	高山常緑針葉樹林サイト(TKC)における土壌水分解析			口頭・ポスター	査読 有・無
	学会名	水文・水資源学会	場所	名古屋大学	番号 P-77	8月 2008年



6	著者名	○村岡裕由・吉野純・齋藤琢・永井信・石原光則・野田響・児島利治・玉川一郎・大塚俊之・安田孝志				
	題名	「衛生生態学」による山岳地流域圏生態系の機能評価。	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	第56回日本生態学会大会	場所	岩手県立大学	番号	PB2-717 3月 2009年
7	著者名	○野田響・村岡裕由				
	題名	ササが優占する落葉広葉樹林林床における光環境と稚樹の光合成	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	第56回日本生態学会大会	場所	岩手県立大学	番号	PA1-052 3月 2009年
8	著者名	○奈佐原顕郎・三上寛了・永井信・村岡裕由				
	題名	冷温帯落葉樹林（高山サイト）における、葉面積指数の総合的長期観測	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	第56回日本生態学会大会	場所	岩手県立大学	番号	PA1-035 3月 2009年
9	著者名	○村岡裕由・奈佐原顕郎				
	題名	生態系機能のモニタリング・解明・評価に求められるリモートセンシング	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	生物多様性観測ネットワーク日本委員会（J-BON）第一回ワークショップ	場所	東京大学	番号	5月 2009年
10	著者名	○中田淳子・玉川一郎・村岡裕由・渡辺力・吉野純・安田孝志・里村雄彦				
	題名	群落微気候モデル MINCER を用いた高山落葉広葉樹林サイト TKY における熱フラックスの推定	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	日本気象学会 2008 年度秋季大会	場所	仙台国際センター	番号	C363 11月 2008年
11	著者名	○本岡毅・奈佐原顕郎				
	題名	衛星リモートセンシングによる紅葉・黄葉フェノロジー観測手法の開発	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	第56回日本生態学会大会	場所	岩手県立大学	番号	PA1-029 3月 2009年
12	著者名	○廣田充・張鵬程・高橋健太・根岸正弥・下野綾子・沈海花・唐艶鴻				
	題名	チベット高山草原の標高傾度に伴う生態系 CO <sub>2</sub> フラックス特性	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	第55回日本生態学会大会	場所	福岡国際会議場	番号	P2-289 3月 2008年
13	著者名	○張鵬程・廣田充・唐艶鴻・鞠子茂				
	題名	青海・チベット高山草原における生態系呼吸の分離	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	第55回日本生態学会大会	場所	福岡国際会議場	番号	P2-290 3月 2008年
14	著者名	○廣田充・大塚俊之・古松・八代裕一郎・志津庸子・下野綾子・沈海花・杜明遠・唐艶鴻				
	題名	家畜の被食が制御するチベット高山草原の生態系構造と炭素循環	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	第56回日本生態学会大会	場所	岩手県立大学	番号	PB2-715 3月 2009年
15	著者名	○Saitoh T.M.				
	題名	CO <sub>2</sub> and heat exchange analyses by tower flux measurements and spatial scaling by modeling at landscape scale	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	第56回日本生態学会大会	場所	岩手県立大学	番号	T13-5 3月 2009年
16	著者名	○齋藤琢・玉川一郎・村岡裕由・吉野純・小泉博				
	題名	流域圏の生態系機能評価を目指した冷温帯常緑針葉樹林におけるモデルシミュレーション	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	第55回日本生態学会	場所	福岡国際会議場	番号	P2-262 3月 2008年
17	著者名	○齋藤琢				
	題名	冷温帯針葉樹林の炭素・熱フラックス	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	シンポジウム、長期生態系モニタリングの現状と課題 - 温暖化影響と生態系応答 -	場所	国立環境研究所	番号	11月 2007年
18	著者名	○齋藤琢・玉川一郎・小泉博				
	題名	急斜面におけるフラックス計測と熱収支 - 純放射量と吹き上げ角の補正の検討 -	口頭・	ポスター	査読	有・無
	学会名	水文・水資源学会	場所	名古屋大学	番号	Pp118 7月 2007年

19	著者名	○Sasai T.						
	題名	Analyzing terrestrial carbon exchanges from plot to regional scale by using remote sensing observation and biosphere model.	□頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無		
	学会名	第56回日本生態学会大会	場所	岩手県立大学(盛岡)	番号	T13-2	3月 2009年	
20	著者名	○Nagai S.						
	題名	Remote sensing and ecological research to monitor forest canopy processes.	□頭・ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無		
	学会名	第56回日本生態学会大会	場所	岩手県立大学(盛岡)	番号	T13-2	3月 2009年	
21	著者名	○大塚俊之・廣田充・志津庸子・八代裕一郎・八木周一						
	題名	落葉広葉樹二次林(高山サイト)における大型木質リター(CWD)の動態	□頭・ <input type="checkbox"/> ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無		
	学会名	第57回日本生態学会大会	場所	東京大学	番号	P3-280	3月 2010年	
22	著者名	○八代裕一郎・志津庸子・曾出信宏・大塚俊之・小泉博						
	題名	スギ幼齢林と壮齢林における生態系純生産量および炭素分配様式の比較	□頭・ <input type="checkbox"/> ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無		
	学会名	第57回日本生態学会大会	場所	東京大学	番号	P3-327	3月 2010年	
23	著者名	○志津庸子・八代裕一郎・曾出信宏・上田聡嗣・小泉博・大塚俊之						
	題名	林分発達初期段階の天然更新林とスギ人工林における6年間の土壌呼吸速度の比較	□頭・ <input type="checkbox"/> ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無		
	学会名	第57回日本生態学会大会	場所	東京大学	番号	P3-329	3月 2010年	
24	著者名	○野田響・村岡裕由						
	題名	冷温帯落葉広葉樹林における林冠木と林床植生の個葉光合成特性の季節性と年変動	□頭・ <input type="checkbox"/> ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無		
	学会名	第57回日本生態学会大会	場所	東京大学	番号	P3-291	3月 2010年	
25	著者名	○齋藤琢・玉川一郎・村岡裕由・李娜研(美善)・八代裕一郎						
	題名	山岳域の冷温帯常緑針葉樹林におけるCO <sub>2</sub> フラックスの環境応答	□頭・ <input type="checkbox"/> ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無		
	学会名	第57回日本生態学会大会	場所	東京大学	番号	P3-277	3月 2010年	
26	著者名	○奈佐原顕郎・本岡毅・永井信・村岡裕由						
	題名	2009年の紅葉・落葉はなぜ早かったのか ---衛星・地上同時観測と検証	□頭・ <input type="checkbox"/> ポスター		査読	有・ <input type="checkbox"/> 無		
	学会名	第57回日本生態学会大会	場所	東京大学	番号	P3-296	3月 2010年	